

(1) 報告事項

ア 令和3年度岩手県立博物館協議会における主な意見・要望とその対応状況

【令和3年度博物館協議会（令和4年1月26日開催）】

主な意見要望等	対応状況等
<p>① 移動展について</p> <p>県博は盛岡市中心部から離れており、なかなかアクセスが良くない所で、階段も長くて高齢者等は大変である。</p> <p><u>移動展をもう少し積極的に行えば、多くの方々に関心を持ってもらえるのではないか。</u>同じ県の施設である美術館と比べて、断然少ない。<u>多くの人がいる場所に出向いて提供</u>ということはどうか。</p> <p>盛岡市街地でやることは考えているか。例えばアイーナにサテライトを設置するとか。<u>盛岡でなく、花巻、北上、一関などでもいいが、街中で県博資料に触れる機会がないので、そういう企画があるといいと思う。</u></p> <p>企業が商品開発をする時のヒントになるものが、ネーミングとか、新しく地産地消のアイデアとか、博物館は地域資源の宝庫だと思う。<u>企業に勤めている人とか、社会人とかもターゲットにした企画があれば、いいのではないか。</u>広がりがある形が、ヨーロッパの博物館にはよくある。</p> <p>移動展を休止しているというお話があったが、再開に向けて検討していくときに、このような視点もあるということでも話させていただいた。（丸山委員）</p>	<p>【協議会当日の回答】</p> <p>入館者数は少なかった。水産科学館が少し遠い場所だったこともあると思う。</p> <p>それとは別に、博物館の展示に直接触れることが少ない地域に出かけて行って展示することをかたてはやっていた。</p> <p>現在休止しているが、今後またやっていくことも考えている。</p> <p>学芸員がアイデアを出し合って、次につなげていきたいと思う。</p> <p>【取組状況等】</p> <p>過去の実施事業と同じ形態の移動展は、自主事業であり、限られた展示予算で開催する企画展、テーマ展にも余裕がないため休止状態となっているのが現状である。ご指摘のようにこちらから人の集まる場所に出向く企画を実施し、宣伝効果を上げる工夫の必要性は認識している。</p> <p>同時に、博物館に触れる機会が少ない地域を対象とする移動展示についても、当館に求められる役割上重要だと考えており、貴重な文化財資料の中で安全に展示可能な資料や会場の選定、運営面の課題をクリアできるように検討を進めたい。</p>
<p>かつて自主事業で行っていた移動展について、どこに、どんなといった例を2、3挙げてもらえるか。（星議長）</p>	<p>【協議会当日の回答】</p> <p>最後は一関文化センターで行った。その際、レプリカ、パネル、資料等、一関市周辺のものをお持ちして、見ていただいた。沿岸地域は、数年かけて数か所に行った。</p> <p>基本的な考え方としては、なかなか簡単には目に触れることが難しい地域をターゲットに行ってきた。</p>

主な意見要望等	対応状況等
<p>② 情報発信について</p> <p>入館者数が昨年より約5千人増えているが、これは単にコロナの状況が良かったということか。</p> <p>ツイッター等SNSでの発信の影響もあるのか。そういう発信をしていることで、その効果があったのか、教えていただきたい。</p> <p><u>それから日曜講座は良い講座が多いと思うが、展示に足を運んでもらえるように、講座の内容をユーチューブで見られるようにすることもいいのではないか。</u>これは意見である。(松政委員)</p> <p><u>ツイッターの工夫とか、私からするともう少し頑張ってもらいたいと思う。</u></p> <p>せっかくやっているのに、情報が行きわたっていない。ツイッターを使う人にも伝わっていないところがあり、残念に感じる。(細越委員)</p>	<p>【協議会当日の回答】</p> <p>SNSの効果が具体的にどの程度というのは難しい。これからは、どんどん発信していくべきと考えている。</p> <p>ユーチューブの活用も含めて、今後さらに取り組んでいきたい。</p> <p>【現時点での追加回答】(学芸第一課長)</p> <p>日曜講座内容のオンライン配信は今年度松政先生、上田先生の講演会をYouTubeで配信した。</p> <p>また、ツイッターやホームページの宣伝効果は確実に上がっており、夏の企画展来館はチラシポスターについて2番目に多くなっている。特に10代～30代への集客効果が上がっていると指摘できる。これをより上の世代にも広める工夫をしていきたい。また、逆に紙媒体での広報を求める世代がいることも現実であり、予算との兼ね合いから、できる範囲でのより一層の工夫を検討していきたい。</p> <p>なお、ホームページ上で館内のバーチャルツアーができるような仕組みの導入を令和5年度の実現に向けて進めているところである。</p>
<p>日曜講座を楽しみにして利用している。</p> <p><u>階段をずっと上がってきて受付のところ、当日の講座が中止になったのを知ったことが2度あった。</u></p> <p><u>下の駐車場のところに貼ってあれば、上まで上がらなくて済んだなと思った。</u></p> <p>それから、<u>知らないでいる企画が結構あったので、宣伝の仕方というか、もう少し伝わるように思ったりした。</u>去年2回ほど民放で博物館の企画展のコマーシャルを見て、やっているのだなと思った。</p> <p>(石川委員)</p>	<p>【取組状況等】</p> <p>当日のイベント変更があった場合、駐車場に併設した案内表示板に告知を掲示するようにしている。</p> <p>広報宣伝活動は精一杯のところでは実施しているが、これも予算面での制約によりテレビCMは断念せざるを得ない状況が続いている。</p> <p>低コストで宣伝効果が上がる工夫を模索中である。</p>

主な意見要望等	対応状況等
<p>③ タブレットの活用について</p> <p>4年度以降についてのお願いであるが、現在生徒一人1台のタブレットが入っている。自宅に持ち帰ってよいことにするか、検討中という状況である。</p> <p><u>よいとなった場合、博物館を訪れた時に、展示物にQRコードがあって、それを読み取るとその詳しい情報が見られる。仏像がある現地の情報、お寺の名前がわかるとか。この博物館に来ると、県内の文化財や民俗資料の居場所がわかって、つながるという拠点になったら、子ども達がタブレットを使って勉強しやすいのではないかと思う。</u></p> <p>ここが拠点となれば、ここのホームページに入ればあちこちとつながって、民俗のこと、歴史のこと、食文化のこと、様々つながっていく拠点になれば、開かれた博物館にもなってくるかと思う。直接来ればもっとわかるし、県博ホームページを訪れると色々つながっていく。</p> <p>午前中に、総合展示室の岩手の歴史のホームページを見た。この内容は、中学三年生位だとわかると思うが、もう1回クリックすると小学生でもわかるとか、写真がもっと増えてくるとか。</p> <p>これの維持管理には予算を伴うので、すぐには難しいかもしれないが、現在一人1台タブレットが子ども達の手にあるということ、これを活用するようにすると、もっと面白いことになるのではないか。</p> <p><u>もう一点は、大人の視点である。岩手山を望む非常に眺望のいい場所にあるので、野外で何かできないか、活用できるのではないか</u>と思う。</p> <p>(小野寺委員)</p>	<p>【協議会当日の回答】</p> <p>タブレットについて、今求められていることだと感じる。</p> <p>ホームページを開くと、次から次へと色々な情報が見られるというのは一番いいと思うが、やはり予算も関わってくる。</p> <p>また、それをやるための職員が必要で、当館の学芸員だけではなかなか厳しい状況である。現在ホームページは当館の学芸員が、通常業務の合間を縫って更新している。予算と職員について、関係機関にお願いしながらなんとかしていきたいと思っている。</p> <p>外でのイベントについては、当館は素晴らしい環境であるので、博物館まつりで芝生広場を使ったイベントを行ったほか、岩石園や植物園もあり、見ていただけるようにしている。</p> <p>子ども達のデジタル環境が一気に改善したので、進めてきたコンテンツの活用がこれからできるかと考えている。</p> <p>また館内で「ポケット学芸員」というアプリを活用した展示解説の仕組みを導入している。タブレット端末を持参して、これを活用していただければ、画像や動画も見られる。これもコンテンツを増やして、館を訪れる更なる楽しみとなるようにしていきたい。</p> <p>この冬は雪像を作ることなども計画したが、雪が突然一度に降るなど、なかなかうまくいかなかった。自然環境を生かしたイベントをこれまで以上に考えていきたい。</p> <p>この10年ほど資料のデジタル化、3D保存などの事業を進めており、データは蓄積されている。</p>

主な意見要望等	対応状況等
④ テーマ展について	
<p><u>テーマ展についてであるが、学問的な興味に応えるとともに、一般の人にアピールするには、世の中で注目されていることに関連づけていくのも必要なのかなと思う。</u></p> <p>例えば生物であれば、「生物多様性」、「気候変動」とか、水辺であれば「災害」とか。「CO₂」の問題とかも関係省庁のホームページで見られる。そういうところが、一般の人が興味を持っていることかと思う。<u>そういうことが展示に組み込まれると、小学生から大学生まで、地元で即して学べたりできるのではないかと。それを直接テーマにすることは別にしても、考えているテーマの中で、ところどころそういうことを関連付けていくといいのではないかと。</u></p> <p>これから一般企業等からやらなきゃいけないと言われていたけれど、何故かわからないという人も多いと思うので。そういうことで仕事に関連して学んでいくことも可能ではないか。</p> <p><u>今後のテーマとして考えていただければと思う。</u></p> <p>(松政委員)</p>	<p>【取組状況等】</p> <p>現在の社会情勢を踏まえて、博物館資料に基づき何を訴えられるのかを意識して展示企画等を立案するのは、ご意見のとおり非常に重要な立脚点と考える。</p> <p>今年度も震災と復興、更にコロナ禍と社会の関わりをテーマに据えたトピック展を実施してきた。</p> <p>更に、現在開催中の新収蔵・新指定展では、新収蔵の戦争関連資料に合わせて、第二次世界大戦に至る時代についてスペースを取って紹介しており、資料とともに戦争について学ぶ機会も提供している。</p> <p>このようなことを随時、ホームページやSNSなどを利用し、これまで以上にアピールしていく工夫をしていきたい。</p>
⑦ 調査研究について	
<p><u>調査研究活動についてであるが、テーマ選定中となっているが、本年度の説明を見ると、結構複数のテーマを扱っているの、おそらく継続中のものもあるのではないかとと思うが、できればタイトルが入っていると、何年後かでも関連の展示が見たいとか、委員にもわかりやすいのかと思った。</u>せっきくの資料なので、これも書いてもらった方が、と思った。(細越委員)</p>	<p>【取組状況等】</p> <p>資料作成時点で確定している調査研究活動テーマについては記載しており、調査研究をベースにした展示、企画の実施につなげているところである。</p> <p>一方、新年度に開始する調査研究テーマ等、特に人事異動との関係で選定中とせざるを得ない部分が複数生じるのはご理解いただきたい。</p> <p>今後時期を設けて更新するなど検討したい。</p>
⑨ その他	
<p>この場所の話であるが、松園には犬を飼っている人、散歩している人が多い。</p> <p>博物館だより 2017・153号で猫の絵馬の資料があり、養蚕が盛んだった時代、幕末からの頃、猫の絵馬をかけてネズミを退散させるということだが、愛らしくて可愛いのが沢山あった。</p> <p><u>子どもよりペットの方が多き時代なので、ペットに注目してそれに関連する展示をしたら、</u></p>	<p>【取組状況等】</p> <p>ペット、愛玩動物に関わり、夏休み、冬休みの子どもや家族連れにアピールする企画として、主に生物部門が中心となりテーマ展、トピック展等で昆虫、小動物、水鳥、更に干支にちなんだトピック展等を実施しているところである。</p> <p>頂戴したご意見のとおり、今の時代にどういう企画が合うのかという視点を常に念頭に置きながら、</p>

主 な 意 見 要 望 等	対 応 状 況 等
<p><u>来館者を呼ぶのではないか。</u></p> <p><u>あるものを見せるというのが基本だとは思</u> <u>うが、今の時代にどういうものが合っているの</u> <u>かと考えると、そこもいいアイデアが浮かぶと</u> <u>ころではないか。</u></p> <p><u>博物館に親しむ事業の中に、そういうものを</u> <u>取り入れていくと、小中学生だけではなく、一</u> <u>般の人たちの裾野も広がるのではないか。</u></p> <p>(丸山委員)</p>	<p>アイデアを出していきたいと考える。</p>
<p>私は車の運転ができないが、<u>地質観察会、自然</u> <u>観察会が現地集合となっていた。私は興味があ</u> <u>ったが現地には行けないので、1年に1回位</u> <u>バスツアーのようなものを企画して、博物館か</u> <u>ら県民会館を経由してバスで出かけるとかあ</u> <u>れば、楽しく参加できるのではないか</u>と思っ ている。よければ考えていただきたい。</p> <p>(石川委員)</p>	<p>【取組状況等】</p> <p>現在、バスツアーなど公共機関を利用する場合、参加者に交通費代等多額の負担をお願いすることなどから実施は難しい。</p>
<p>私見であるが、<u>博物館のスタッフのスーツの</u> <u>制服が前から気になっていた。伝統だと思</u> <u>うが、解説もするし礼を尽くした形とも思うが、</u> <u>寒いとか、靴だと足が痛いとかないのか。</u></p> <p>何より、震災の展示をやっていて、3.11を 経験されたスタッフもいると思う。中にいる人 を誘導しなければならない時に、あの靴はちょ っと大変ではないかと思う。雪の時は靴を履き 替えなければ出られないのではないか。ちょっ と見直してもいいのではと思っている。</p> <p><u>例えば科学館とか、もう少しラフなもの</u> <u>があるが、スタッフジャンパーとかでもないの</u> <u>はないか。</u>その方が、小学生とかは質問しやすい とか、参加しやすいとか、スタッフだと分かり やすいということもあると思う。</p> <p>礼を尽くした丁寧な雰囲気は大事だと思う が、震災を経験したことを考慮していただい てと思う。自分が解説員だったら、スーツはク リーニングが大変とか思ってしまう。</p> <p>何かあった時に、階段を上がり下がりする ことを考えると、前向きに考えていただければ と思う。銀行も制服がなくなり、私服になって きている時代である。(細越委員)</p>	<p>【取組状況等】</p> <p>意見を踏まえて、解説員等にアンケートをとった 結果、解説員からは現状のままで特に支障はない という回答を得ている。</p> <p>制服は伸縮性のある素材のものを選んでおり、ま た、靴はヒールの低いものを履くなど、現行の制 服着用での避難誘導について支障が生じることが ないことを確認している。</p> <p>ただし、寒さ対策等としてスカートだけではなく スラックスの貸与なども検討しており、解説員の 要望に応えるようにしている。</p> <p>また、スタッフジャンパー等ラフなものでもいい のではという意見もいただいているが、制服に対 しては年代等による好み、意見も様々であり、今 後も情勢を踏まえながら、検討していく予定である。</p>